

「安心・活力・発展プラン2005」 第2回発展部会 委員発言要旨

日時：平成26年10月10日（金）13:30～15:30

場所：トキハ会館5階「カトレア」

No.	項目	発言要旨
1	教育	子どもたちがアートに触れることでコミュニケーション能力や表現力等が身につく、学力向上など他分野にも良い影響を与える可能性がある。
2		教育者・保育者が育ち親や子供と信頼関係ができるようにならないといい教育・保育はできないが、体力的にきつい等の理由ですぐに辞めてしまうのが現状である。
3	教育 芸術文化	「おんせん県おおいた」は親しみがあり県外にもアピールできているので、「創造県おおいた」「教育県おおいた」についても、名称はキャッチーだが実施内容は真剣に取り組んでいるような工夫をして欲しい。
4	青少年の健全育成	子ども達が外遊びできるような場所がなくなってきているので、子ども達が自由に遊べる環境づくりをお願いしたい。
5	芸術文化	芸術文化については、国東半島の神仏習合や中津・竹田の城下町等大分にある潜在的な力をもっと掘り起こし、その力を発揮させていくことが必要。
6		高齢者にとってアートは生きがいにつながると思うが作品を展示・発表できる場が少ないので、芸術文化ゾーンにおいて高齢者の作品を発表できる機会をつくって欲しい。
7	NPO	県民サービスの向上等につながる提案をしたNPOに対しては、その提案が実現できるような管理、運営等の部分も含めて支援してほしい。
8	交通	国東半島を訪れた方が気持ちよくスムーズに廻れるよう、国東の山々を巡る道路の整備をしっかりとって欲しい。
9		大分に来た観光客が県内各地を周遊するためには、郊外も含めて時系列的に道路整備をする必要がある。
10	人材育成	若者版のリーダーカレッジを作ってみてはどうか。立場の違う様々な若者が集まり、地域の未来を考えていく人材を育てていくことが大事だと思う。
11	農林水産業	農林水産業を伸ばしていくためには、優秀な若手農業従事者等への教育（語学も含む）や首都圏・海外市場に出て行けるような場づくり・サポート体制が必要。
12		中間流通コスト削減の傾向があるなか、大分県の地域密着型の農林水産業が今後大きな財産となっていくのではないかと懸念している。

No.	項目	発言要旨
13	農林水産業	男女共同参画が進んでいる農林水産分野について、女性が従事することに喜びを感じ、従事しやすくなるような取組を検討して欲しい。
14	ものづくり	ものづくりの分野では、デザイン性を取り入れ付加価値を与えることにより、コスト競争から脱却できるのではないか。
15	ツーリズム	訪れてみて良い場所であれば住みたくなることに繋がっていくため、訪れたい場所の1つになるような情報発信をしていただきたい。
16		東九州自動車道の開通効果を一過性の観光客増加に終わらせることのないよう、持続可能で魅力的な地域づくりに取り組む必要がある。
17	地域づくり	地域を活性化するうえでは、地元住民も大事だが、外から人を呼び込み、交流を続けていけるかどうか重要な課題だと思う。
18	災害対策	火山や大気の監視体制や危機管理体制の状況等、大分県がいかに安全、安心であるかを対外的にもっと情報発信していくべき。